



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月12日

上場会社名 株式会社ヨータイ 上場取引所 東
 コード番号 5357 URL <https://www.yotai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 田口三男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役本社業務部長 (氏名) 竹林真一郎 (TEL) 072-430-2100
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	11,197	△18.7	1,269	△41.9	1,331	△40.4	901	△38.2
2020年3月期第2四半期	13,778	4.3	2,186	△11.8	2,234	△11.3	1,458	△14.8

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 943百万円(△33.8%) 2020年3月期第2四半期 1,424百万円(△16.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	41.28	—
2020年3月期第2四半期	66.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	33,983	27,893	82.1
2020年3月期	34,443	27,234	79.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 27,893百万円 2020年3月期 27,234百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	9.00	—	7.00	16.00
2021年3月期	—	5.00			
2021年3月期(予想)			—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※2020年3月期中間配当の内訳 普通配当7円00銭 記念配当2円00銭(上場70周年記念配当)

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	22,700	△14.8	2,400	△40.3	2,500	△39.5	1,650	△41.0
								75.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	25,587,421株	2020年3月期	25,587,421株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	3,805,254株	2020年3月期	3,609,808株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	21,843,136株	2020年3月期2Q	21,977,721株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は新型コロナウイルス感染症の拡大による休業要請や外出自粛により、企業活動、個人消費などあらゆる経済活動が抑制され、景気は急速に悪化し極めて厳しい状況となりました。緊急事態宣言解除後は国内の経済活動に一部持ち直しの動きがみられたものの、先行きは不透明な状況が続いております。

一方、世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により景気の停滞感が鮮明となりました。足元では緩やかな回復の兆しがあるものの、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、お客様のニーズをとらえた新製品の開発及びWEB会議を利用した国内外への積極的な営業展開、品質第一とした構造改革の推進と一層の生産効率化等に鋭意取り組んでまいりました。そして、中国子会社につきましては輸出の拡大、高付加価値品や不定形耐火物の拡販などの体質改善に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は111億97百万円と前年同四半期に比べ25億81百万円の減収となり、営業利益は12億69百万円と前年同四半期に比べ9億16百万円減少し、経常利益は13億31百万円と前年同四半期に比べ9億3百万円の減少となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、9億1百万円と前年同四半期に比べ5億57百万円の減少となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(耐火物等)

耐火物等事業につきましては、鉄鋼向けの需要が減少したこと等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は93億5百万円となり、前年同四半期に比べ23億95百万円の減収、セグメント利益は生産量の減少に伴う原価上昇等により、16億64百万円となり、前年同四半期に比べ8億90百万円の減少となりました。

(エンジニアリング)

エンジニアリング事業につきましては、環境装置関係向けの受注が減少したこと等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は18億92百万円となり、前年同四半期に比べ1億85百万円の減収、セグメント利益は2億73百万円となり、前年同四半期に比べ15百万円の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間の財政状態につきましては、主要得意先である鉄鋼業界の落ち込みにより売上高が減少したこと等で、資産合計、負債合計は減少し、純資産合計は増加となりました。それぞれの状況は次のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間の資産合計は、339億83百万円であり、前連結会計年度に比べ4億60百万円減少しました。これは主として、現金及び預金の増加14億54百万円、投資有価証券の増加1億72百万円等があるものの、受取手形及び売掛金の減少10億4百万円、電子記録債権の減少5億99百万円、原材料及び貯蔵品の減少4億71百万円等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間の負債合計は、60億89百万円であり、前連結会計年度に比べ11億20百万円減少しました。これは主として、買掛金の減少5億32百万円、未払費用の減少3億32百万円、電子記録債務の減少2億52百万円等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間の純資産合計は、278億93百万円であり、前連結会計年度に比べ6億59百万円増加しました。これは主として、利益剰余金の増加7億47百万円等によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間の自己資本比率は82.1%となり、財政状態は概ね良好であると判断しております。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は96億60百万円となり、前第2四半期連結会計期間末より44億18百万円増加いたしました。これは、売上債権やたな卸資産等が減少したことが主な要因であります。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果獲得した資金は24億60百万円となりました（前第2四半期連結累計期間比5億88百万円の増加）。これは主に、仕入債務の減少額8億20百万円、法人税等の支払額3億76百万円等の減少要因があるものの、売上債権の減少15億95百万円、税金等調整前四半期純利益13億20百万円、たな卸資産の減少7億51百万円等の増加要因によるものであります。

前第2四半期連結累計期間に比べて獲得した資金の増加は、売上債権の増減差が主な要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は6億97百万円となりました（前第2四半期連結累計期間比53百万円の減少）。これは主に、有形固定資産の取得による支出6億35百万円等によるものであります。

前第2四半期連結累計期間に比べて使用した資金の減少は、有形固定資産の取得による支出が減少したことが主な要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は2億97百万円となりました（前第2四半期連結累計期間比1億10百万円の増加）。これは主に、配当金の支払額1億53百万円、自己株式の取得による支出1億29百万円等によるものであります。

前第2四半期連結累計期間に比べて使用した資金の増加は、自己株式の取得による支出が増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況及び最新の経営環境等を踏まえ、2020年5月14日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2020年11月12日）公表の「2021年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,206,159	9,660,927
受取手形及び売掛金	9,963,901	8,959,106
電子記録債権	1,542,604	943,332
製品	3,813,461	3,508,855
仕掛品	473,176	490,177
原材料及び貯蔵品	3,398,594	2,926,915
その他	55,097	170,623
貸倒引当金	△4,063	△3,343
流動資産合計	27,448,931	26,656,593
固定資産		
有形固定資産	5,118,455	5,302,373
無形固定資産	26,927	23,872
投資その他の資産		
投資有価証券	1,515,633	1,688,085
その他	361,286	339,292
貸倒引当金	△27,771	△27,191
投資その他の資産合計	1,849,148	2,000,186
固定資産合計	6,994,530	7,326,433
資産合計	34,443,462	33,983,026

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,855,971	1,323,933
電子記録債務	1,800,813	1,547,825
未払法人税等	469,731	465,930
賞与引当金	—	352,850
役員賞与引当金	28,570	14,838
その他	1,720,185	1,042,994
流動負債合計	5,875,271	4,748,371
固定負債		
退職給付に係る負債	1,267,635	1,286,038
その他	66,482	54,897
固定負債合計	1,334,118	1,340,936
負債合計	7,209,389	6,089,307
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,654,519	2,654,519
資本剰余金	1,750,465	1,750,465
利益剰余金	23,039,060	23,786,823
自己株式	△693,422	△823,400
株主資本合計	26,750,623	27,368,408
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	317,204	385,005
繰延ヘッジ損益	5,783	1,016
為替換算調整勘定	154,939	129,121
退職給付に係る調整累計額	5,521	10,166
その他の包括利益累計額合計	483,449	525,310
純資産合計	27,234,072	27,893,719
負債純資産合計	34,443,462	33,983,026

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	13,778,878	11,197,726
売上原価	10,542,541	8,937,785
売上総利益	3,236,336	2,259,940
販売費及び一般管理費	1,050,229	990,684
営業利益	2,186,106	1,269,255
営業外収益		
受取利息	5,892	3,452
受取配当金	35,707	33,433
不動産賃貸料	8,605	8,634
雇用調整助成金	—	18,000
その他	6,868	11,264
営業外収益合計	57,074	74,783
営業外費用		
支払利息	438	377
為替差損	5,560	9,693
その他	2,488	2,871
営業外費用合計	8,487	12,942
経常利益	2,234,693	1,331,096
特別利益		
投資有価証券売却益	17,212	—
特別利益合計	17,212	—
特別損失		
固定資産売却損	—	11,089
投資有価証券評価損	66,220	—
特別損失合計	66,220	11,089
税金等調整前四半期純利益	2,185,684	1,320,007
法人税、住民税及び事業税	724,784	427,859
法人税等調整額	2,149	△9,458
法人税等合計	726,934	418,401
四半期純利益	1,458,750	901,606
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,458,750	901,606

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,458,750	901,606
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,631	67,801
繰延ヘッジ損益	△8,314	△4,766
為替換算調整勘定	△17,242	△25,818
退職給付に係る調整額	9,280	4,644
その他の包括利益合計	△33,907	41,860
四半期包括利益	1,424,843	943,467
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,424,843	943,467
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,185,684	1,320,007
減価償却費	397,463	402,748
貸倒引当金の増減額(△は減少)	189	△673
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△12,183	18,402
賞与引当金の増減額(△は減少)	337,375	352,850
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△14,300	△13,732
受取利息及び受取配当金	△41,599	△36,885
雇用調整助成金	—	△18,000
支払利息	438	377
固定資産売却損益(△は益)	—	11,089
投資有価証券売却損益(△は益)	△17,212	—
投資有価証券評価損益(△は益)	66,220	—
売上債権の増減額(△は増加)	567,431	1,595,728
たな卸資産の増減額(△は増加)	397,608	751,971
仕入債務の増減額(△は減少)	△516,664	△820,793
その他	△550,694	△762,568
小計	2,799,757	2,800,522
利息及び配当金の受取額	41,599	36,885
利息の支払額	△438	△377
法人税等の支払額	△968,584	△376,370
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,872,333	2,460,660
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△878,455	△635,067
有形固定資産の売却による収入	—	17,558
投資有価証券の取得による支出	△5,902	△79,895
投資有価証券の売却による収入	33,886	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△750,472	△697,404
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△28	△129,977
配当金の支払額	△175,408	△153,591
その他	△11,711	△13,818
財務活動によるキャッシュ・フロー	△187,149	△297,388
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,985	△11,100
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	930,726	1,454,767
現金及び現金同等物の期首残高	4,311,347	8,206,159
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,242,073	9,660,927

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年3月16日開催の取締役会決議に基づき、自己株式195,400株の取得を行っております。この結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が129百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が823百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	耐火物等	エンジニアリング	合計
売上高			
外部顧客への売上高	11,701,128	2,077,750	13,778,878
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	11,701,128	2,077,750	13,778,878
セグメント利益	2,554,448	289,524	2,843,973

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額

及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,843,973
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△657,866
四半期連結損益計算書の営業利益	2,186,106

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		
	耐火物等	エンジニアリング	合計
売上高			
外部顧客への売上高	9,305,422	1,892,303	11,197,726
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	9,305,422	1,892,303	11,197,726
セグメント利益	1,664,243	273,807	1,938,050

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額

及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,938,050
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△668,795
四半期連結損益計算書の営業利益	1,269,255

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(追加情報)

新型コロナウイルスの感染拡大による影響について、前連結会計年度においては経済活動の停滞により国内外ともに耐火物需要が減少するものの、下期からは徐々に持ち直すものと予想しておりました。しかしながら、主要得意先である鉄鋼業界の回復が予想よりも遅れていること等を踏まえると、現時点での耐火物需要の回復は年明け以降になると予想し、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見直しを行っております。

なお、この仮定は現時点で入手可能な情報に基づいており、状況が変化した場合は、財務諸表に影響を及ぼす可能性があります。